



ふくろうのひみつ

夜の森を飛んでいる、何だかこわそうな鳥、おとぎ話で魔法使いと一緒にいる鳥といえはふくろうです。

でも、本当はおとなしくて、かわいい鳥なんです。みなさんは、そんなふくろうのひみつを知っていますか。

一つ目のひみつは、ふくろうが行動する時間です。ふくろうは、夜になると大変忙しくなります。ふくろうにとっては、夜が昼で、昼が夜なのです。つまり、人間が起きているときは、いつもぼおっとしていますが、夜になると、えさを取ったり、羽をつくろたり、仲間と連絡をとったりと、大忙しになるのです。

二つ目のひみつは、よく動く首です。夜目を覚ますと、右・左・上・下・後ろ・ぐるりと一回りなど、頭をすつきりさせるために、首の体操をしているのです。

三つ目のひみつは、やわらかい羽です。このやわらかい羽は、速く飛んでも音がでません。そのおかげで、えさをとるとき少しも気付かれずに、えものに近付くことができます。

わたしたちがおきている昼間は、いつもぼおっとしているふくろうにも、このようなひみつがあるのです。夜、大忙しのふくろうに会いにいくと、もつといろいろなひみつが見つかるかもしれませぬ。

上の文章を要約してみましよう。「要約するために」でまとめた要点をつないで、物語のあらすじのように書きましよう。

夜の森を飛んでいる、何だかこわそうな鳥のふくろうには、みんな知らないひみつが三つある。

一つ目のひみつは行動する時間。

二つ目のひみつはよく動く首。

三つ目のひみつはやわらかい羽。

こんなふくろうには、みんな知らないひみつが、もつとあるかもしれない。